

風物詩

手づくり・草の根の市文化祭

門真市では、毎年11月3日の文化の日の前後3日間にわたって、「市文化祭」が盛大に開かれます。この文化祭は、市民が日頃取り組んでいる様々な文化活動を集約し、積極的に発表できる場を提供するもので、約2万人もの市民らが参加します。その歴史は、市制施行の昭和38年に始まり、当初は本市が主体となって開催していましたが、今では社会教育団体や市広報で文化祭実行委員を公募しており、意欲のある市民が主体となって、誰もが直接文化祭の運営に参画でき、市民の手づくり、草の根、参加型を基本としているのが特徴です。

今年の文化祭は、11月3日から5日の3日間、「美しい街 未来の門真に続く 文化祭典」をテーマに行われました。今年も市民らが中心となって実行委員会を結成し、展示、芸能・音楽、レクリエーションのそれぞれの部会で事業を推進しました。

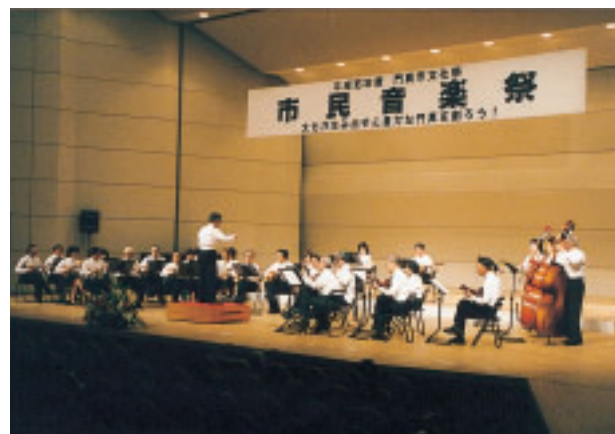
それでは、各部門の催しを簡単にご紹介しましょう。

まず展示部門では、文化会館や市立体育館において、絵画、書道、華道など団体や個人の約750点にのぼる作品が展示されました。どの作品も力作揃いで、鑑賞に来られた市民らはその数の多さにびっくりされていました。

次に芸能・音楽部門では、ルミエールホール（市民文化会館）において、400人を超える市民らが、舞踊、民謡、マジックなどを披露されました。また、



約540人が出演して楽器の演奏や合唱を行う「市民音楽祭」も開かれ、特にフィナーレで参加者全員で奏でるハーモニーは圧巻でした。バレエ、ヒップホップ、フラメンコ、ジャズダンスなどの「ダンスフェスティバル」も、43団体800人余りが出演し大盛況で、躍動感あふれるダンスは観客から大きな喝采を浴びていました。文化祭に参加しているジャズダンスチームの中からは、全国優勝を果たしたチームも出るなどすばらしい活躍をされています。



最後にレクリエーション部門は、ニュースポーツの集い、竹のぼり、体力測定など、大人や子どもたちが愉快地楽しめる交流の場となっています。市立体育館前の広場でも市民手づくりの模擬店が立ち並び、大いに会場を盛り上げてくれました。

門真の秋を演出する市民文化の祭典、「手づくり・草の根の市文化祭」。本市の秋の風物詩としてこれからも市民とともに大切に育んでいきます。

● お問い合わせ先 ●

門真市教育委員会生涯学習部生涯学習課
生涯学習グループ

TEL : 06-6902-7192